

平成29年度 地域公共交通網形成計画の取組

資料6

	事業の内容	実施目標年度	平成28年度末時点での状況	平成29年度の予定
人 に や さ し い 安 全 な 交 通	3 バスや関連施設の充実			
	(1) バスの安全対策やバリアフリー化 (実施主体：町・バス事業者・施設管理者)			
	・ バス車両の交通安全対策、ヒューマンエラーによる事故防止対策の徹底	随時実施	あおい交通では指差し確認を励行。名鉄バスでは一般路線バス全車にドライブレコーダーを搭載、左折一旦停止を励行、会議にて交通安全の事例を周知。	今後も継続して実施。
	・ タウンバス北ルートバス車両や施設のバリアフリー化	随時実施	南北ルートの車両はリフト付。その他、一般路線バスもバリアフリー化済。	要整備箇所を把握し可能な限り対応。
	(2) バスの待合環境の整備 (実施主体：町・バス事業者・施設管理者)			
	・ ベンチやバス停の照明施設の整備、公共交通利用案内やサインの充実	28年度～	公共交通マップにQRコード掲載。とよやまタウンバスのバス停にQRコードを表示。各事業者がバスの待合環境整備に努めている。	各事業者において適宜継続的に実施。長期的な視点で取り組む。
	・ バスの待合や案内、乗車券の販売など、社会教育センターのターミナルとしての機能強化	28年度～	案内板について、調整等を行ったが、実施には至っていない。	関係機関と調整・協議を行う。
	4 高齢者等の移動範囲の拡大			
	(1) バス停勢圏の拡大や利便性の向上 (実施主体：町・バス事業者)			
	・ バス路線の充実や道路ネットワークの整備などを通じたバス停勢圏の拡大や利便性の向上	29年度～	未実施	名古屋市営バス延伸社会実験の分析結果や、各事業者の路線計画を踏まえ、網計画の修正作業の中で、バス停勢圏の狭い75歳以上を主なターゲットとして、検討する。
ま ち の 機 能 や 魅 力 を 高 め る 利 便 性 の 高 い 交 通	5 バスの利便性の向上			
	(1) とよやまタウンバス南北ルートの改善や見直し (実施主体：町・バス事業者・商業施設や医療機関など)			
	・ とよやまタウンバスの南北ルートにおける利用者ニーズに対応した改善や見直し	29年度～	未実施	名古屋市営バス延伸の社会実験の検証結果や、各事業者の路線計画を踏まえ、網計画の修正作業を行うが、その際に利用者ニーズを踏まえ、とよやまタウンバスの南北ルートの改善や見直しについても検討する。
	(2) バスの利用環境の改善・充実 (実施主体：町・バス事業者・検索サイト事業者)			
	・ 「地域協働推進事業」の取組実施及びQRコードの活用やバスロケーションシステムなど、新たな利用環境の改善・充実の検討	27年度～	平成28年度に地方創生加速化交付金により、とよやまタウンバス車内及びバス停にwi-fi環境を整備し供用開始済み。バスロケーションシステムは導入に向けて事業実施中であり、平成29年3月末完了、4月供用開始予定。	適宜必要な更新を行う。公共交通の利用環境の改善・充実に資する様々なサービスについて、情報収集し、可能な限り活用する。
環	6 産業活動や地域間交流を支える交通環境の整備			
	(1) MR J 関連の通勤者や見学者のアクセス確保 (実施主体：町・バス事業者)			
	・ とよやまタウンバス、名鉄バス、あおい交通の連携・協力したバス路線の充実	27年度～	平成27年7月31日に名鉄バス、8月5日にあおい交通へ、県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。	今後も連携・協力しバス路線の充実に取り組む。
	・ 北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの延伸等についての要請	27年度～	平成27年7月29日に名古屋市交通局へ県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。平成29年3月に1箇月間の社会実験を実施。	北部市場～名古屋空港まで延伸運行社会実験を実施(3/1～3/31)。社会実験結果の整理・分析を行う。結果や方向性については、地域公共交通会議で協議。
環	7 クルマに過度に依存しない交通行動の促進			
	(1) 公共交通マップ等の作成・配布 (実施主体：町・地域公共交通会議・町民討議会議)			

平成29年度 地域公共交通網形成計画の取組

資料6

	事業の内容	実施目標年度	平成28年度末時点での状況	平成29年度の予定
境	住民や利用者等の意見を踏まえ、よりわかりやすい公共交通マップを ・作成し、公共交通のPRとして町民や本町への通勤者、新規転入者などに配布	随時実施	地域公共交通確保維持改善事業を活用し、公共交通マップを作成。配布中。	4月1日現在分の配布。 10月頃と3月頃にダイヤ等を更新。
	(2) バスの乗り方教室や出前講座等の開催 (実施主体：町・地域公共交通会議・町民討議会議)			
に	高齢者や主婦、子ども、地域団体などを対象とした「バスの乗り方教室」や出前講座の開催、環境にやさしい公共交通やバスの利用促進、町民討議会議などを活用した公共交通やバスに関する意見交換	随時実施	平成28年5月12日に豊山町心身障害者福祉協会の会員およそ30人を対象に出前講座「公共交通機関の使い方」を開催。	引き続き教育委員会が所管する「出前講座」のメニューに登録し、申込のあったグループに対し、公共交通やバス利用について、PRを行う。
	(3) 利用促進イベントやキャンペーンの実施 (実施主体：町・地域公共交通会議・町民討議会議)			
や	環境フェスティバルや健康福祉フェスティバル、交通安全教室など既存のイベントやキャンペーンと連携したバスを中心とする公共交通の利用促進	随時実施	5月12日に出前講座実施。また、11月12日に開催された環境フェスティバルにおいて、地域公共交通網確保維持改善事業を活用して作成したクリアファイルを用い、地域公共交通についてPRを実施。 3月18日、19日開催の「旅まつり名古屋2017」にて豊山町の公共交通をPR。	既存のイベントやキャンペーンにおいて公共交通をPR。可能であれば「バスの乗り方教室」を開催。
	(4) 広報誌やホームページ等による公共交通のPR (実施主体：町)			
さ	「広報とよやま」や「とよやまチャンネル」にバスをPRする記事やコーナーを設け、バスや公共交通に対する町民の意識啓発と利用促進の実施	随時実施	広報とよやまや町ホームページにて名古屋市営バス延伸の社会実験の周知を行うとともに公共交通のPR記事を掲載(1月号、2月号、3月号)。	今後も広報とよやまや町ホームページにて公共交通のPR記事を掲載していく。
	町のホームページにおける公共交通関連情報の充実、スマートフォン版の作成	随時実施	ホームページ(スマートフォン版含む)での公共交通関連情報を更新。	適宜更新を行う。
い	8 自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備			
	(1) 安全で魅力的な自転車・歩行空間の整備 (実施主体：町)			
交	自転車道や緑道・散策路などの整備、自転車マップやお出かけマップなどの作成の検討、レンタサイクルの導入検討	27年度～	「見どころマップ」を平成27年度に作成済み。	長期的な課題とし、情報収集・検討を行う。
	(2) バスと自転車との乗り継ぎ環境の整備 (実施主体：町)			
通	主なバス停周辺に自転車駐車を整備、自転車や徒歩からバスに乗り継ぐための有用な情報提供	28年度～	「見どころマップ」を関係機関・住民に配布・PRすることにより、バス・自転車利用の促進を図った。	駐輪場の整備は、長期的な課題とし、情報収集・検討を行う。